

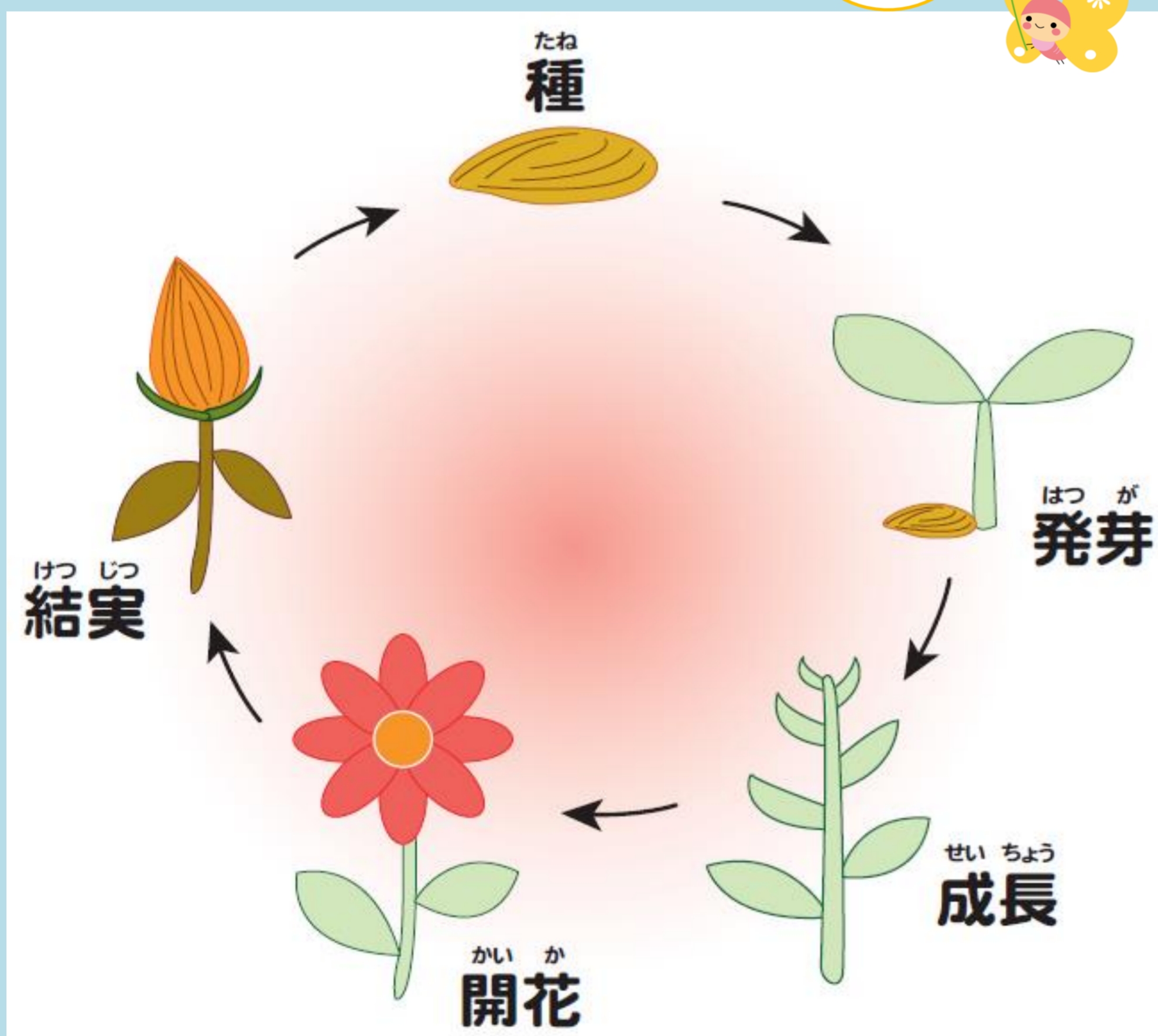
# 実・種ってなんだろう？

わたしたちが食べるリンゴやスイカ、マンゴーなどは植物の実で、中には固い種が入っています。実や種は植物の将来をにぎる大切なもので、次の世代に命をつなげるための様々な方法を備えています。

## 種の仕事

種は子孫を残すためや生育地（植物が生活する場所）を広げるためにつくりまします。また、種は丈夫なので乾燥や寒さなど、成長するには厳しい時期を耐えることができます。

このサイクルを何度も繰り返して子孫をつないでいくんだね。



## 実・種の旅立ち

自ら動くことのできない植物にとって、種（子孫）をより多くへ運ぶのは、とても難しいことです。そこで植物は風や動物の力を借りて実や種を遠くに運んでもらいます。

### 風散布



タンポポ



カエデの仲間

風に飛ばされやすいように綿毛や翼が付いているよ。

### 動物散布



センダングサの仲間



リンゴ

動物にくっついて運ばれるものと、食べられて運ばれるものがあるよ。

### 海流散布



サキシマスオウ



ゴバンノアシ

水に浮くように空気がたまってんだよ。

## おどろきの実・種をつける植物たち

かんざつ！  
世界最大の種



フタゴヤシ

かんざつ！  
世界最小の種



ラン

かんざつ！  
最強の実！？



ライオンゴロシ

かんざつ！  
空を飛ぶ種



アルソミトラ

# 海を渡る実・種

## ～漂着種子～

海岸を歩いていると、ヤシの実や巨大なマメ、見慣れない植物の種を見つけることがあります。

これらの実や種は、もともと別の場所にあったものが、川や海の流れによって遠くに運ばれ、海岸にたどり着いたものです。

陸で生活する植物にとって、海水は毒であり、種の中に海水がはいつてしまうと、死んでしまいます。

しかし、種の中に海水が入らず、海面に浮くことができれば、広い海（地球の表面の70%）をただよい、より遠くへ運ばれていきます。

海岸で見つけた実や種は、もしかすると、遠い南の島から流されてきた種かもしれません。

### 実や種の浮き方

海流に流されてくる実や種は、空気がたまるつくりになっています。そのため、長い時間海の上に浮き、遠くまで運ばれることができます。



ゴバンノアシ  
タネを包む皮がスポンジのようになり浮くことができる



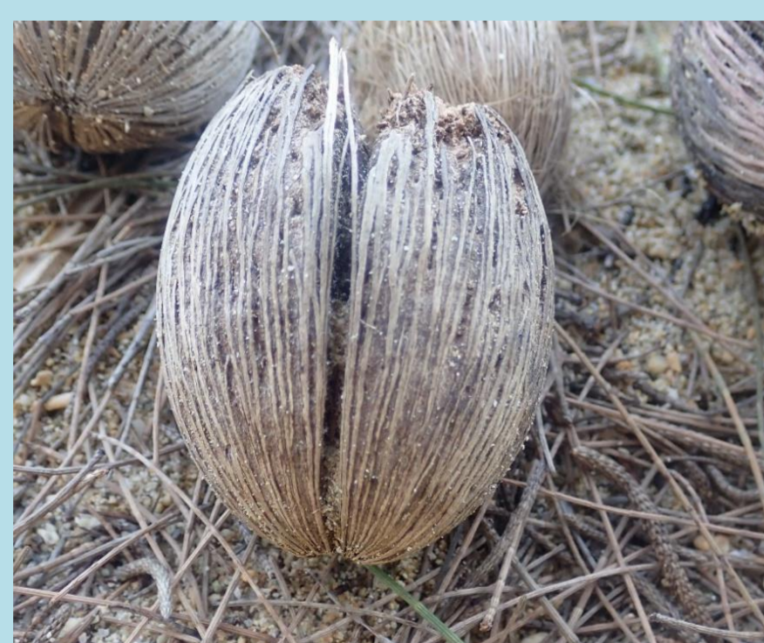
モダマ  
タネの中に空間があり浮くことができる

### 海岸で見つけることができる実や種 **かんさつ!**



サガリバナ

別名サワフジ。  
沖縄の夏の風物詩!



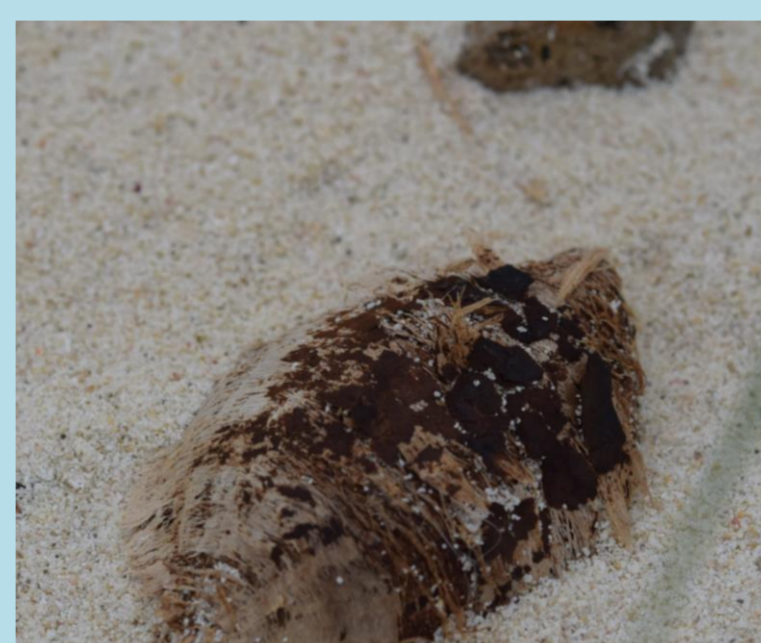
ミフクラギ

たわしサイズの  
大きな果実は  
海岸にゴロゴロ。



ココヤシ

大きな果実は  
見つけやすい!  
ココナッツジュース  
の実!



モモタマナ(コバテイシ)

オオコウモリが  
大好きな果実!



アダン

ヤシガニが大好きな  
果実。流されたもの  
はボロボロに。



グンバイヒルガオ

世界中の熱帯に  
生えている  
すごいやつ!



ハマアズキ

アズキの仲間!  
種は小さく  
見つけにくいかも!



ヒメモダマ

世界一大きな豆の仲  
間。ちょっと珍しい。



テリハボク

別名ヤラボ。  
ビー玉サイズなので  
見つけやすい!



クサトバラ

たくさん落ちている  
けど小さくて  
見つけにくい!